

上田市教育委員会 4 月定例会会議録

1 日 時

平成 24 年 4 月 18 日 (水)

午後 2 時 30 分から午後 3 時 42 分まで

2 場 所

上田市教育委員会 (やぐら下庁舎) 2 階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	城下 敦子
委 員	小市 正輝
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

武井教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、倉島学校教育課長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、児玉丸子地域教育事務所長、藤沢真田地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、大滝上田図書館長、倉澤博物館長、山崎西部公民館長、池田城南公民館長、坪田上野が丘公民館長、倉澤塩田公民館長、綿内川西公民館長、清水上田情報ライブラリー館長、宮之上第一学校給食センター所長、矢島丸子学校給食センター所長

・あいさつ

・教育次長 職員紹介

協議事項

(1) 平成24年度教育委員会重点目標について(教育総務課)

資料1により小野塚教育総務課長説明

小市委員

重点目標にある上田市教育支援プランの推進の中で、昨年度までの3校において実施した小中連携を引続き推進し、小中の枠組みを取り払いながら解決して行くことは重要である。今年度は4校に拡大するとあるが、4校とはどこか。

倉島学校教育課長

三中、四中、五中及び丸子北中である。

金子委員

目標管理シートの形式が変わり、分かりやすかつながりが見えやすい。中間報告、期末報告が並んで書かれているので、結果としてP D C AのCの部分でダブルチェックされることになり、次のプラン(P)へ繋がっていくことが理解できる。

重点目標一覧表の中の市長指示事項にある発達障害児への対応については、具体的にプランのどこに入るのか。

倉島学校教育課長

資料1の にある個に応じた指導の充実の中で、教育部分と福祉部分とを融合した形で進めていきたい。

金子委員

前回は申し上げたが、チェックをなるべく詳しく具体的にしていくことがP D C Aを効率よく回すことにつながる。さらなる努力をお願いしたい。

城下委員

様式の変更は、見やすくして良い。24年度重点目標について、市のホームページへの掲載はどういった形になるのか。

小野塚教育総務課長

各部署の目標管理シート及び重点目標について、理事者協議を行っているところである。教育委員会についても20日に協議予定である。それらがまとまったところで、ホームページに掲載される。また、広報うえだにも掲載される予定である。

城下委員

中間報告の時点では、 の評価はつけられないのか。

小野塚教育総務課長

これまでの目標管理制度の運用では、中間報告の段階では評価していない。

小市委員

学校におけるキャリア教育の支援について検討委員会を2回開催するとあるが、これまでの話では今年度は本腰を入れてやると聞いており、その立場から考えると年2回の検討委員会で具体的なものになるのか心配である。細かな部分まで話を詰めて、職場体験学習などはいくつかの中学校単位で具体的なまとめをしないと、実際に始まっていかないのではないのか。せっかく目標を立てるので、もっと踏み込んでもらいたい。

小山教育長

キャリア教育とは、従来ばらばらにやってきた教育活動を改めてキャリア教育の視点で捉え直していくというものである。各学校ではキャリア教育の計画をつくってスタートしているが、職場体験学習は、その大きな軸になるものである。中学校においては、職場体験学習を行うために地域の商工会やPTAの方たちに学校単位で依頼しているが、更に教育委員会として検討委員会と連携して市全体を取りまとめて行いたいというものである。市ではパンフレットをつくり、職場体験学習の趣旨について企業にご理解いただくことを同時進行で進めていく。

全委員 了承

< 報告事項 >

(1) 人権に関する意識調査について(生涯学習課)

資料2について小山人権同和教育政策幹より説明

城下委員

前回19年の調査結果はどうか。一般市民が見ることはできないのか。

小山人権同和教育政策幹

審議会を通じて調査結果の冊子がつくられ配布されるが、インターネットでは公開されていない。

金子委員

調査票の内容を監修する専門家の先生はいるのか。前回の回収率はどうか。今回の改善点は何か。

小山人権同和教育政策幹

監修については、特に依頼していない。前回の回収率は43.4%だった。こうしたアンケート関係の回収率は通常4割程度だと言われている。これまでの調査も同様に行なわれているが、改善点としては、今回新たに前回との比較ができ、また、県との比較もできるようにしたことが大きな特徴となっている。

金子委員

回収率がこれ以上下がらないことを望むが、回収率向上に向けて回答者に何らかの報酬を考える（エンピツを配る）など何か工夫はあるか。

小山人権同和教育政策幹

予算的に難しく特にしていない。

城下委員

調査用紙あるいは調査結果報告書を見たい。その調査が次に繋がるようにしなければならないのではないか。

小山人権同和教育政策幹

調査結果報告は、設問の記載があり簡単なコメントも記載されているが、このアンケート結果をもとに今後どのような方針で人権同和教育を進めるかを探るものである。

西田委員長

外国人についての質問はあるか。

小山人権同和教育政策幹

人権課題のひとつに女性、ハンセン病などがあるが、それと同時に外国人という課題もある。外国人が多いのは上田市の特徴でもあるが、具体的に今考えられているものは、外国人にとって差別・偏見はあると思うか、また、それはどういうときか（教育、就職、職場、結婚の選択肢がある）といった質問である。

全委員 了承

(2) 上田市の博物館のあり方(答申)について(博物館)

資料3について倉澤博物館長より説明

小市委員

博物館をはじめ市内にはすばらしい施設があるが、県外上田市以外の人たちにとって移動手段がない、次の場所に行く方法がないといった声を聞く。巡回バスの設置など、何か対応を検討してほしい。

西田委員長

答申書を受けて、教育委員会として今後具体的に進めて行くことに対する考えはどうか。

倉澤博物館長

博物館については、貴重な資料などの収集及び保管を行い、真田氏を中心に戦国時代から近世を重点的に充実させたい。また、信濃国分寺資料館については考古資料を中心に重点的に収集し、丸子については養蚕・製糸を活かした資料を中心に、武石については灯火の資料の収集展示に加え体験教室を拡充していくことで、それぞれのテーマを明確にし、今後、資料などの展示収集に努めていきたい。

全委員 了承

(3) 行事共催等申請状況について

(学校教育課 生涯学習課 文化振興課 スポーツ推進課)

資料4について倉島学校教育課長・浅野生涯学習課長・土屋文化振興課長・佐藤スポーツ推進課長より説明

全委員 了承

<その他>

- ・山崎西部公民館長より公民館だよりの説明
- ・佐藤スポーツ推進課長より染谷台グラウンド竣工式の報告
- ・金子委員より退任の挨拶

閉会